

---

# 俺と奴らと召喚獣

京

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺と奴らと召喚獣

### 【Nコード】

N3607Y

### 【作者名】

京

### 【あらすじ】

この物語は作者と作者の友人がもしバカテスの世界にトリップしてしまったらという妄想を淡々と描いたものです。過度な期待はしないでください。

## プロローグ（前書き）

皆さん、お久しぶりです。

前の小説が停止してから半年、今回は停止することのないように頑張りたいのでよろしくお願いします。

更新は一ヶ月に一度は投稿出来るようにしたいと思います。

## プロローグ

「……ろ」

なんか声が聞こえる。

「……きろ」

なんだろう？

「いいかげん、起きろ？」

「痛って！？あ、緋色おはよう。てか、ここどこ？」

目を覚ますと、幼なじみの雅島まさとしま 緋色ひいろがいた。  
どうやら俺たちは真っ白な部屋にいるみたいだ。

「知らん。お前の後ろに眺もいるぞ」

そう言われて後ろを見ると、もう一人の幼なじみの桐野きりの 眺ながめが後ろにいた。

「朱葉、眺。取り合えず状況把握だ。俺は高校から帰ろうとしたとこまでは覚えてる」

「俺も同じだ。眺お前は？」

「俺は三人で校門を出たとこまでだ」

「そうか、その後俺が起きた時、此処にいてお前らも近くに倒れた、でも眺はすぐに起きたが、朱葉は起きる気配がなかったから叩き起こした」

そして俺らはしばらく、何か出口の様な物が無いか探し回る事にした。

「ちょっと待てい」

そんな声がして、目の前に老人が現れた。

「すまぬ。僕は神なんじゃが、手違いでお主らの高校の校門に空間の歪みが出来てしまったんじゃ。それだけなら良かったんじゃが、歪みを直した後にお主らが巻き込まれて、この世界に来てしまった事が分かったのじゃ。歪みは完全に直してしまったので、お主らをすぐに元の世界に戻す事は出来ないから、しばらくの間この世界で暮らしてもらう事になる」

「俺らを置いてくつもりか！

こんな何もない部屋にいたら、気が狂うぞ」

「いや、違うぞ。僕は特殊な空間でしか姿を現す事が出来ないからじゃ」

「じゃあ、ここはどんな世界なんだ？」

「ここはお主らの世界に在る小説のバカとテストと召喚獣の世界じゃ」

「「「「「ええっ!?!?」「」」」」

「バカとテストと召喚獣って、あのバカテス？」

「そうじゃ」

「あの試獣召喚サモーンとか言ってる小さな分身を喚んで戦う？」

「そうじゃ」

「あの吉井明久バカや坂本雄二達の居る？」

「そうじゃと言っておるじゃろう」

「神にもバカで通っているのか・・・」

「・・・。まあ、そういう訳でこの世界で暮らしてもらうぞ。家はちゃんと用意しておいた。結構大きめの良い家だぞ。質問はあるか？」

「生活費はちゃんと出るんだろうな？」

「うむ、ちゃんと送るぞ。月に1人8万円でいいか？」

「少し少ないか？」

「ああ、あと電気代、水道代、ガス代は儂が負担しとくから」

「それなら、結構良い額だな」

「お主らには文月学園に通ってもらうぞ。手続きもしてあるし、学費も儂が払っとくから」

「「「分かった」」」

「明日、学園で振り分け試験があるから、忘れないようにな。他に必要な事とかは資料を家に置いとくから、それを見てくれ」

「「「分かった」」」

「じゃあ、せいぜい楽しんで過ごしてくれよ」

神はそう言っつて、右手を上げた。そのとたん、俺らは建物の中に入った。

「おそらく、ここが神が用意したって言っていた家の中だろう」

「じゃあ、部屋割とか適当に決めて。その後は、自由にしようぜ」

そして、部屋割を決めて、振り分け試験前日は過ぎて行った。

## 設定（前書き）

僕がバカテスのクラス別の点数がどれ位なのか知らないので、勝手に設定として考えてしまいました。

どうか、ご了承下さいm（）m（）m

オリキャラの召喚獣情報は見たい人は見てください。



## 設定

クラス別の1教科平均得点(誤差あり)

A	191	230
B	151	190
C	111	150
D	81	110
E	61	80
F	0	60

ここより下はオリキャラの情報です。

オリキャラ

加治木 朱葉  
かしき すよう

現国	—	—	3	7	0
古典	—	—	4	1	0
数学	—	—	4	2	0
現社	—	—	4	0	
日本史	—	—	4	0	
世界史	—	—	3	0	
地理	—	—	3	0	
物理	—	—	4	0	0
化学	—	—	1	7	0
生物	—	—	1	3	0
地学	—	—	5	0	
英語	—	—	1	1	0
家庭科	—	—	2	0	0

## Bクラス上位並み

### 召喚獣の特徴

少し厚着の私服姿で、腕に籠手が装備してある。  
腕の籠手の中に刀が仕込んである。

### 腕輪の能力

#### 召喚

武器や道具などを召喚して使う事が出来る。特殊な能力のある武器はその能力に応じた点数を消費すれば使える。

(例 如意棒 ただの棒 伸びる棒)

また、召喚フィールド内にいる召喚獣を近くに召喚出来る。  
しかし、反動で数秒動けなくなる。

現国	1	1	7	0	
古典	1	1	1	3	0
数学	1	1	1	5	0
現社	1	1	1	9	0
日本史	1	1	4	3	0
世界史	1	1	4	0	0
地理	1	1	2	2	0
物理	1	1	4	1	0
化学	1	1	4	2	0
生物	1	1	3	4	0
地学	1	1	3	3	0
英語	1	1	2	0	0
家庭科	1	1	8	0	

### Aクラス上位並み

#### 召喚獣の特徴

騎士のような格好をしていて、武器としてハルバードを使う。ハルバードは大きく、工藤愛子の斧よりも少し大きいくらいある。

#### 腕輪の能力

##### 硬直

召喚フィールド内の自分以外の召喚獣を全て10秒程動けなくする。発動してから硬直するまでに3秒程時間がかかる。硬直化が終わるまで動けない。

雅島まがしま 緋色ひいろ

現国 1 1 8 0

古典	—	—	40
数学	—	—	440
現社	—	—	120
日本史	—	—	150
世界史	—	—	140
地理	—	—	70
物理	—	—	180
化学	—	—	200
生物	—	—	60
地学	—	—	60
英語	—	—	90
家庭科	—	—	50

### Cクラス上位並み

#### 召喚獣の特徴

忍者みたいな格好をしていて、背中に武器の刀を背負っている。手裏剣も腰にあるが、見せかけで、ダメージなどは与えられない。

#### 腕輪の能力

##### 分身

分身を作ることが出来る。実体のある分身もない分身も作る事が出来る。

実体のある分身は点数を等分割して作り、実体のない分身は点数は変わらないが、点数消費で分身と本体を入れ替える事が出来る。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3607y/>

---

俺と奴らと召喚獣

2011年11月17日21時50分発行